

Bulletin



the Lions Times

District 335-C

3
 MARCH
 2015


国際会長テーマ

「Strengthen the PRIDE」

(誇りを高める) ジョセフ・プレストン

ガバナーテーマ

新たな挑戦 — Step Up Now —

アクティビティスローガン

私心なき奉仕 — 原点にもどろう —

今月の特集

第53回

アジアフォーラム

年次大会呼びかけ

2014年度冬期YCELレポート



District 335-C



335-C地区ガバナー
(京都洛東LC)

森井 士郎

ライオンズクラブ創設100周年を間近に控え、第61回335-C地区年次大会を桜咲く宝ヶ池のほとり、国立京都国際会館において、4月25日(土)に開催いたします。私が335-C地区ガバナーとしての要職に就いて瞬く間に半年が過ぎ、古事にありますように「光陰矢の如し」とはこのようなかと今更反省しきりです。

ガバナー公式訪問を始め、多くのクラブアクティビティ等に出席をさせて頂き、メンバーの皆さんと地域の方々が互いに協力しあう努力奉仕、支援活動を目の前にして改めてライオンズクラブの素晴らしさに接し、ライオンズの精神を多くのメンバーの皆さんと共有できたのではないかと思います。またお互いのクラブの歩み方、地域への参画等、アクティビティには無くてはならない人と人とのつながりを改めて感じました。

地区年次大会は、年に一度の京都・滋賀・奈良の335-C地区のメンバーの皆様方が一堂に会するまたとない意義ある大会であり、各クラブの一年間の奉仕活動を始め、多くの成果を示し、そしてメンバーとの友好を温め、真のライオンズとしての絆を深める場であります。

年次大会テーマ「変革と未来」には、我々ライオンズが今後大きく「変革」をするべき時期であること、また「未来」においては青少年育成という大きな課題について将来を見据え、来る2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに335-C地区の多くの若者が携わることを願う、という意味が込められております。この年次大会が成功裏に終わりますよう一人でも多くの方に参加していただき、人と人とのぬくもりを感じさせる素晴らしい式典になりますようメンバーの皆様方のご協力をお願い致します。

地区ガバナー 森井 士郎

2015/1/27現在

ライオンズクラブ国際協会335-C地区 第61回年次大会 公式プログラム 大会テーマ「変革と未来」 Innovation & Future

開催日 2015年4月25日(土)
開催場所 代議員総会及び式典 国立京都国際会館
懇親会 ウェスティン都ホテル京都

時間および会場

9:00—9:30	代議員登録	1F	入口受付
9:40—10:20	立候補者所信表明及び選挙(投票)	2F	Room A
10:20—12:00	代議員総会	2F	Room A
12:00—12:50	式典受付	1F	入口受付
13:00—15:30	式典	1F	メインホール

- ・大会事務局 1F 157号室
- ・開票所 1F Room H
- ・インフォメーションセンター 1F 玄関通路奥右特設デスク
- ・医務室 B1 会館常設医務室(Room E 隣)
- ・代議員昼食会場 1F さくら

代議員の方へお願い

※代議員登録時間 9:00～9:30を必ずお守り下さい。登録時間を過ぎると投票用紙を渡せませんのでご注意ください。

※代議員総会終了後、式典開始時間(13:00)までに昼食をお済ませ下さい。

懇親会

17:30—19:30 懇親会

ウェスティン都ホテル京都

第53回 東洋・東南アジアフォーラム

ライオンズクラブ国際協会主催第53回 OSEAL FORUM が2014年11月13日から16日の日程で韓国の仁川市で開催されました。仁川市は韓国第三の都市でアジアのハブ空港である仁川国際空港で知られています。

今回のフォーラムのテーマは「寛容」。世界の国々の垣根がなくなり、交流の機会が今後ますます広がっていく、お互いを理解し、受け入れ、手に手を取り合っていく、このような明るい社会の実現は、この「寛容」の精神から始まるのではないのでしょうか。そのような問い掛けが今回のテーマから感じられました。

11月14日、コンベンシアホールで韓国の民俗芸能の舞踊の後、代表団紹介及び入場があり、開会宣言となりました。会場は、地元韓国をはじめ東洋東南アジア各国から集まったライオンで立錫の余地もなく埋め尽くされ、国際色豊かな大会となりました。

ジョー・プレストン国際会長のテーマは「誇りを高める」【PRIDE】です。『私たちライオンズは135万人の会員の絆をさらに強め、協調と相互理解の精神のもと、奉仕に取り組むことにより、「誇りを高める」ことができます』とグローバルリーダーにならしめることの重要性を強調されました。

この大会を通じて多くの仲間と絆を強める機会が得られたことは大きな収穫であり思いに残るフォーラムになりました。

同日14日夜、335-C地区ガバナー・森井士朗主催のガバナー晩餐会が137名の多くのライオンの出席の元、ミレニウム・ソウル・ヒルトンホテルに於いて開催されました。

今年度のガバナーテーマである「新たな挑戦・Step Up Now」の元、C地区発足60周年という輝かしい節目の年を終え、森井ガバナーは21世紀に相応しい新たな時代のライオンズクラブへの飛躍を力強く提唱しました。

希望・信頼・未来をキーワードに夢の実現のための変革に新たな挑戦をしようというものです。そのことが国際会長の「誇りを高める」というテーマに通じることでもあります。

晩餐会は厳粛な中にもお互いの友情を深めつつ、今後の「We Serve」の誓いを新たにする有意義な時間を共有することができました。今回の東洋・東南アジアフォーラムに参加いただきましたライオン・ライオンレディの皆様ありがとうございました。そして、今回の世話取りをいただきました地区国際関係委員会と関係各位に心よりお礼申し上げます。

地区国際関係副委員長 落合 啓男

2014年11月14日(金) 13:30-17:00

開会式



2014年11月14日(金) 19:30-21:30

335-C地区ガバナー晩餐会





2014年11月15日(土) 19:00-22:00

国際会長晩餐会(100ドル)【招待制】



第2回 キャビネット会議

日時:2014年11月19日(水) 場所:リーガロイヤルホテル京都

紅葉で彩りを始めつつある京の町。11月19日リーガロイヤルホテル京都に於きまして第2回キャビネット会議が開催されました。

地区キャビネット幹事・水田俊宏の司会進行にて、48名のご参集を賜り、地区ガバナー・森井士朗の開会・ゴングが鳴り響き開会宣言がなされました。本会は、まず、10月7日にご逝去されました地区YCE・レオ副委員長の故内藤洋義様(京都洛翠LC)に対し謹んで黙祷を捧げました。

さて、森井ガバナーからの冒頭挨拶におきましては、公式訪問が無事に、皆様のお心添えのもと終了したことについての感謝の言葉がございました。最後の公式訪問先であった4R1Zでは、例会に国際会長のレジョー・プレス・トンご夫妻が、ご参加くださいまして大変感激をした旨の報告もございました。至極光栄なことであり、その時に新入会員の歓迎式も執り行われ、国際会長からバッジを贈呈されるサプライズもあったとのこと。新入会員の方々には一生の思い出となったことでしょう。

続きまして、国際会長のレバリー・J. パーマーより、前地区ガバナー・児玉保次へ、感謝状並びにドリームアチーバー賞、家族会員増加において功績を収めた地区家族ピンの授与が森井ガバナーの伝達により行われました。そして、国際会長より森井ガバナーへ「ライオンスの誇りアワードピン」を、5R2Zゾーンチエアパーソン・加藤淳へは「誇りを高めるアワード」、地区PR情報・IT委員長・梅山克啓には「2014～2015年度ライオン誌サポーター委嘱状・ピン」の贈呈がなされました。

会議におきましては、森井ガバナーが議長の上、8月の豪雨災害へのLCIF緊急援助交付金の報告の他、ライオンス必携54版の主な改訂部分や、ライオンズクラブ国際協会100周年記念委員会の設立等々の説明がございました。また、審議事項では、2013～2014年度の地区決算報告、並びに監査報告が、小村孝次、小泉光太郎よりなされ承認を得ました。また、本年度の年次大会につきましても委員長の山本嘉彦より説明がございました。

滞りなく、報告及び審議がすべて終了いたしました。

質疑応答の時間には、藤野泰志(能登川LC7R1Zゾーンチエアパーソン)より、「アワード申請締め切り月が2月までとなっている。事情は理解するが、3月から6月までのアクティビティに関しても(次年度で良いので)評価対象にしてほしい。」旨のご要望があり、それを受けて森井ガバナーより、次年度対象とする旨の即答を申されました。

最後になりましたが、本会開催に際しまして、地区GLTCコーディネーターの山修よりご自身の著書「わがライオニズム」のご恵贈がございました。あらためまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

今期キャビネットもいよいよ後半戦です。会員皆様のお声を形にしていくな、運営に尽力してまいります。今後とも引き続きましてのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人

平成26年度 きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会

－ 麻薬・覚醒剤乱用防止運動京都大会 －



11月2日(日)14時より京都産業会館8Fシルクホールにおいて「きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会－麻薬・覚醒剤乱用防止運動京都大会－」がきょうと薬物乱用防止行動府民会議主催で開催されました。

構成団体等、また一般より約500名の参加があり、335-C地区内1R～4R内クラブより100名、レオクラブより1名の参加がありました。

335-C地区としましては、青少年健全育成の一環として薬物乱用防止に関わる関係団体として参加しておりますので、参加者の動員とアトラクション担当をアクティビティいたしました。

地区青少年育成委員長 小西 秀樹

次 第

- あいさつ
 - ・京都府知事 山田 啓二
 - ・京都市長 門川 大作
- 厚生労働大臣感謝状贈呈
- 「京都府薬物乱用防止指導員」委嘱式
- マスコットキャラクター募集コンクール受賞者表彰式
- 基調講演
「危険ドラッグ依存症－医療現場からの報告－」
京都府立洛南病院 川畑 俊貴
- 高校生によるアトラクション
私立大谷高校吹奏楽部による演奏
- 「NO DRUGS KYOTO '14」宣言

近畿ブロック血液センター見学会



去る11月28日(金)地区献血・視力・聴覚福祉委員会主催で、輸血用血液製剤の安全性向上と安定供給を目的に、一極集中型施設として開設された、茨木市にある日本赤十字社近畿ブロック血液センターの見学セミナーが実施された。

小高い丘の上に位置するセンターは、まだ新しい建物で清潔感が漂っていた。まずセンター内会議室で河所長から、広域事業運営体制(全国7ブロック)に移行して需給調整が広域化し、地域格差が解消されつつあり、より安全な血液製剤の供給が可能になった。

血液事業の基本方針は、血液製剤の安全性向上、安定供給の確保、適正使用の推進、献血者の保護等である。現在の課題としては、若者層の献血離れに対処する為、「献血甲子園」等、持続可能な献血推進活動を、多岐に渡って試みているという様なお話であった。

見学コースでは、献血により搬ばれてきた血液が、血液製剤になる迄の現場を見せてもらった。

まず検査では、血液型検査や感染症予防の為の抗原・抗体検査、核酸増幅検査(NAT)白血球の除去作業(白血球が原因で起こる輸血副作用を予防する為)、次に血液パック、巨大な脱水機のような遠心機にかけ、血液を赤血球と血漿製剤(保存温度2℃〜6℃有効期間採血後21日間)血漿製剤(保存温度20℃以下有効期間1年間)にわけられ、輸血用製剤として輸血を待つ患者さんと、医療機関に運ばれるそうです。

以上、短い時間でありましたが、皆様から献血された血液が、どという風に製剤として輸血出来るようになるか勉強出来て、人の命に係わる献血事業の重要性を改めて再認識させられた、有意義な半日であった。

地区献血・視力・聴覚福祉委員長 門奈 邦治

第27回 国際平和ポスターコンテスト

京都展示会

平成26年11月9日、岡崎、日図デザイン博物館において、第27回国際平和ポスターコンテスト展示会(京都会場)が開催されました。今年度の展示点数は508点(応募総数19,255点)となりました。

前日の展示会準備には、地区PR情報・IT委員長メンバー、藤田担当運営委員他、草津ライオンズクラブから9名のご協力をいただき、午前10時から作業を始め、午前中にほぼ作業は終了しました。

展示会当日は、午前9時半から地区PR情報・IT委員長L梅山より開会宣言があり、続いて地区ガバナーL森井士朗からの挨拶がありました。その後、委員長よりコンテストの趣旨説明、応募状況等の説明があり、テープカットは森井ガバナー、永田第一副地区ガバナー、神崎第二副地区ガバナー、水田キャビネット幹事、佐竹キャビネット会計、ソニーチェアパーソン3名により挙行されました。

当日はあいにくの秋雨模様でしたが、作品を提供してくれた児童やご家族の皆様、国際平和ポスターに関心を持って入場された親子連れなどで、大変にぎわいました。

「国際平和ポスターコンテスト」は世界で紛争の絶えない中、11歳から13歳までの世界中の子どもたちが同時に「平和とは何か」について考える有意義なコンテストであり、今後ますます発展する事を心から願います。

当日は午後4時に閉会となり、委員会メンバー、藤田担当運営委員他、草津ライオンズより5名のご協力をいただき、スムーズに撤収作業を完了しました。

ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

地区PR情報・IT委員長 梅山 克啓



滋賀展示会

平成26年11月22日、南彦根駅前のビバシティ彦根において滋賀県での展示会が開催されました。

本会場での展示は、ガバナー賞3点をはじめ入賞作品、滋賀県677Rからの作品、総点数181点の展示になりましたが、前日に地区PR情報・IT副委員長L角田の所属する、彦根金亀ライオンズクラブのメンバーが多数あつまり、準備作業を行っていただきました。

午前10時のビバシティ開店とともに来場された方々の前で開会セレモニーが行われました。地区を代表して地区ガバナーL森井士朗より挨拶が行われ、その後第二副地区ガバナーL神崎、地元7Rのソニーチェアパーソンやクラブ会長とともに、テープカットが厳かに行われました。

当日は晴天で、展示場は通路を利用して設営されたため、多くの人通りで賑わい、出展者の家族だけでなく、多くの方々が興味深く鑑賞する光景が見受けられました。

大変有意義な展示会となりました。前日の準備から当日の運営、撤収と彦根金亀ライオンズクラブの多くのメンバーに大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

地区PR情報・IT委員長 梅山 克啓



奈良展示会

平成26年11月30日(日曜日)秋晴れの中、近年来開催地としておりました奈良文化会館より、交通の便が良いJR奈良駅に隣接する「奈良100年会館小ホール」に場所を写し、第27回 国際平和ポスターコンテスト奈良展示会が開催されました。

前日の展示会準備には、地区PR情報・IT委員長L梅山をはじめ地区PR情報・IT副委員長の方々と奈良西LCからは十数名のメンバーにご協力して頂き、準備もスピーディーに完了しました。

展示会当日には、朝10時より第二副地区ガバナーL神崎、地区PR情報・IT委員長L梅山、地元奈良各ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、役員様等々多くの方々のご出席の中、テープカットに依るオープニングセレモニーが行われました。

会場には、出品者ももとよりご家族や友達、また奈良西LCのフェイスブック公式ページのPR効果?もあり多数の地域の方々にご来場して頂きました。

今後とも子供達に国際平和ポスターコンテストを通じて、国際平和について考えるチャンスの場として頂ければ幸いです。

今回の国際平和コンテストにご協力して頂いた各クラブの皆様、並びに学校関係者の皆様方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

地区PR情報・IT副委員長 貝本 敬



オーストラリアYCEコーディネーター京都観光



2014年11月26日、来日中のオーストラリアYCE日本担当コーディネーターであるL Helen Daglish氏が335-C地区を表敬訪問されました。

当日は午後から嵐山地区をご案内し、京都の秋を満喫して頂いた後、地区YCE・レオ副委員長であるL新川笑子のご主人が経営されている「ちゃんこしん川」(河原町十条)にて歓迎夕食会を開催しました。歓迎夕食会には森井ガバナーをはじめキャビネットメンバーにもお越し頂き、バナー交換など国際交流のひとつを過ごしました。

地区YCE・レオ委員長 大高 友一



2014年度 冬期YCE派遣学生歓送会



「2014年度冬期YCE派遣学生歓送会」が、地区ガバナーを始めとするキャビネットの方々、スポンサークラブと保護者の方々、OB・OG会のメンバーなど多数のご出席をいただいて開催されました。2014年度冬期はマレーシア、ペルー、イタリアの3カ国に合計7名という2011年夏期以来の派遣人数となり、非常にフレッシュで賑やかな会となりました。

地区YCE・レオ副委員長L朝倉の司会により出席者が紹介されたあと、地区YCE・レオ委員長L大高の挨拶に続き、地区ガバナーL森井よりご挨拶を頂戴いたしました。



その後、地区ガバナー及び地区委員長より、派遣先への記念品の贈呈があり、引き続いて、和やかな歓談の時間となりました。

最後に各派遣学生から、派遣にあたっての決意が述べられました。どの学生も期待に胸をふくらませている様子がうかがえました。

参加者一同、派遣学生の充実した滞在と無事の帰国を祈りつつ、散会となりました。

2014年度 冬期YCE来日学生歓迎会



その後、地区ガバナー・森井と来日学生がバナー・ピンの交換を行い、さらに地区ガバナー・森井と委員長・大高より来日学生へブレゼントが進呈されました。

引き続き、第1副地区ガバナー・永田賢司の乾杯の発声で、楽しくランチタイムが始まりました。

今回の来日学生達は、とても日本に興味と関心が高いようで、とても流暢な日本語でのスピーチでした。

最後に、ホストファミリーの皆様とホストクラブの方々、YCEのOB・OG会のメンバーと共に皆さんの思い出を作っていただいて、無事帰国の途に着いてもらえるように、と、閉会の挨拶でなごやかな歓迎会を閉会しました。

地区YCE・レオ委員会

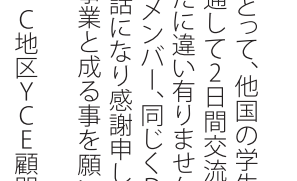
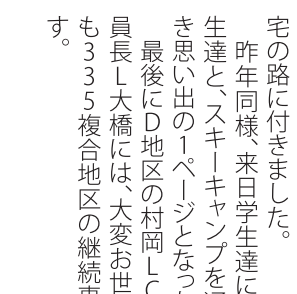
12月19日12時より、リーガロイヤルホテル京都にて「2014年度冬期YCE来日学生歓迎会」がとり行われました。

今回は、オーストラリア・イタリア・ニュージーランド・マレーシア（2名）から、合計5名の学生を迎え、地区ガバナー・森井士朗をはじめ、地区役員、ホストファミリー、ホストクラブ、YCEのOB・OG生の皆様多数の参加をいただき開催されました。

初めに、地区ガバナー・森井より来日学生へ歓迎のご挨拶と、ホストファミリー・ホストクラブへお礼のお言葉をいただきました。

続いて、地区YCE・レオ委員長の・大高がホストファミリー・ホストクラブへの感謝の意を伝えるとともに、来日学生達には交流を機会に、有意義な時間を過ごされ、日本を満喫して行ってくださいと、声をかけていました。

2014年度335複合地区 YCE冬期来日学生スキーキャンプ



12月17・18日の2日間、335複合地区の冬季YCE来日生のスキーキャンプに、昨年に続き、D地区の村岡LCの御世話のもと、C地区からオーストラリア・ニュージーランド・イタリア・マレーシア・シンガポールの各来日生5名と、随行者として、OB生の武村君と私の7名で参加してまいりました。

早朝より京都駅に、来日生を各HFさんに連れて来て頂き、7時20分の新幹線に乗り込みました。姫路駅8時4分に到着後、A、B、C、D各地区の来日生19名、OB生4名、随行者ライオンメンバー4名でバスに乗り込み、村岡区中央公民館に向いました。村岡公民館では、村岡国際交流協会、村岡LCメンバーに歓迎式をして頂き、ピン、バナーの交換と、記念品を頂き、その後楽しく昼食会もして頂きました。

その後、八千北高原スキー場の宿泊先「かどや旅館」にて、スキーウェアに着替え、村岡LCメンバーにスキー研修をして頂きました。あいにく吹雪の中でのスキーとなり、初めてスキー体験をする学生には少々つらいスキーとなり、大変寒い中2時間程スキーを満喫しました。

その後、かどや旅館さんにて「すき焼」で夕食会をして頂き、来日生、OB生、ライオンメンバー共々楽しい交流が出来ました。

翌日も、早朝よりスキー研修に出かけましたが、昨夜はたくさん降雪でゲレンデは新雪でしたが、天候は昨日と同じく吹雪の中でのスキー研修となりました。（地元の小学校は風雪注意報で休校でした）

お昼前までスキーを満喫した後、かどや旅館さんにてカレーライスの昼食を取り、寒かったせいか全員ほっとした様子でした。その後身仕度をして村岡公民館にてお別れ会をして頂きました。各地区の来日生代表に、それぞれ今回のスキーキャンプの感想を述べて貰い（C地区はオーストラリアのAngus君、和やかな、そして過酷なスキーキャンプが終わりでした）

又、村岡区に多くの来日生が来ているとの事で、このLCの事業を神戸新聞が取材に來られ、学生達はインタビューを受けていました。（来年はテレビが来るかも）その後、お世話になった村岡LCの皆様とお別れをして、バスにて姫路駅に向いました。姫路駅で学生達は、最後の別れを惜しむ様に写真を取って、それぞれの地区のHFさんのもとへ帰宅の路に付きしました。

昨年同様、来日学生達にとって、他国の学生や日本のOB生達と、スキーキャンプを通して2日間交流出来た事は、良き思い出の1ページとなったに違いありません。

最後にD地区の村岡LCメンバー、同じくD地区YCE委員長・大橋には、大変お世話になり感謝申し上げます。今後も335複合地区の継続事業と成る事を願いたいと思います。

C地区YCE顧問 中原 憲治

2014年度 冬期YCE派遣レポート

「全ての人に感謝」

派遣先・マレーシア
京都桃山LC 森岡 大樹

ペナン空港に降り立ち、むせ返るような湿気と暑さを浴びた瞬間に、本当にマレーシアに来たのだと実感した。

笑顔で迎え、力強く握手をしてくれたのが僕のホストファミリーは毎日のように、僕を観光やライオンズクラブのイベントに連れて行ってくれた。その中でも心に残っているのが、洪水で非難している人たちに物資を届けに行ったことだ。滞り期間中、マレーシアのある地域で洪水が起これ、甚大な被害が出ていることが連日ニュースで報道されていた。僕はその洪水の為に、高台の学校に非難している人たちの元へ、食料や衣服を届けに行くというライオンズクラブの活動に参加させていただいた。その活動の中で、避難している人たちが少しずつ笑顔になっていく姿を見た。今までの人生で、ボランティア活動に参加したことなかった僕は、この笑顔に出会い、ボランティア活動というものの核心を見たような気がした。そこには物資を届けるだけの作業ではなく、血の通った人と人とのつながりがあったように感じた。

ホストファミリーは僕の拙い英語にも熱心に耳を傾けてくれた。「もつと話して」と言っていて、英語で話すチャンスは何度もくれた。ホストファミリーだけでなく、ライオンズクラブの方々、レオのメンバー、さらにはお店のおじさんも、皆が親切でフレンドリーに接してくれた。そのおかげなのか、僕は日本にいる時よりもよく笑っていたし、自分の感情を全身で表現していたように思う。

この留学を経て、僕の英語力はまだまだだと痛感した。そして何よりもマレーシアの人たちの暖かさを強く感じる事ができた。このような機会を下さった、すべての人に感謝の気持ちでいっぱいだった。



「イタリアに行ってみて感じたこと」

派遣先・イタリア
京都むらさきLC 新川 真理

私は今回YCE派遣学生として、京都むらさきライオンズクラブからイタリアに行かせていただきました新川真理です。今まで何回か海外にホームステイした経験はあるんですけど、ヨーロッパには行ったことがなくて、一度行ってみたくて、この機会がいいと思いました。

行くこと決まってから楽しみもあったけど、不安の方が大きかったです。言語の問題の不安が一番大きかったです。でもホームステイ先が決まって、言語のところに英語が話せると書いてあったので、不安も少し減少しました。

イタリアについてホストファミリーに会ったとき、すごく優しくそうというのが第一印象でした。家族は父・母・娘2人と息子1人でした。すごくウェルカムな雰囲気です。すごくすくすくやかったです。食事面も嫌いな物は抜いてくれたり、気をつけてくれてました。

毎日色々な所に連れて行ってもらったりして、いろいろな思い出ができました。なので、バイバイするときはつらかったです。

最後の1週間は、イタリア・マレーシア・メキシコ・ブラジル・日本・オーストラリアが集まって、フィレンツェ、モンテルロ、ヴェネツィア、ピサ、ローマ、バチカン市国など、いろいろな所を観光しました。すごくインターナショナルで、すごくいい経験だと思っています。

今回イタリアに行くと、貴重な経験ができたと思います。感謝しています。ありがとうございました。





「再発見！」

派遣先：マレーシア ペナン島
京都むらさきＬＣ 橋長 茉紀

今回のホームステイは、私にとって初めての経験でした。これまで１週間以上家を空けたことがなく、３週間も家族と離れるということや、現地での生活が全く想像できませんでした。しかし、心配は必要ありませんでした。ホストファミリーをはじめとし、ペナンの皆さんは温かく私たちを迎えてくれました。

特に、ホストファミリーとの出会いは特別で、私にとってかけがえのない存在です。日本では、授業、アルバイト、部活動、遊びと家族と同じ家に住んでいるものの、ゆとりが過ぎる時間がとれず、いまだに、ペナンでの３週間の生活の中では、毎日家族で囲む食事や団らんの時間がありました。失敗をして家族に心配をかけたり、兄弟喧嘩をしたりすることもありましたが、その分、相手のこと、自分のことを考えることができたのではないかと思います。家族の存在の大切さを感じたと同時に、日本にいる家族とのことも考えさせられました。

ペナンで過ごした３週間の生活の中で色々なことを再発見できました。マレーシアや日本の良さ、家族の大切さ、日常生活で忘れていたことにも気づくことができ、日頃の生活を振り返る大切な機会となりました。学生生活最後にこのような経験ができたことは、私にとって本当に大きく、４月からの新生活に生かしていこうと思います。

最後になりましたが、ライオンズクラブの皆様、このような機会を与えて下さり本当にありがとうございました。



マレーシアに来て感じたことは、日本で当たり前だと思っていたことが当たり前ではなかったということを知りました。

例えば、飲食店のサービスについて、日本ではレストランや喫茶店に入ったとき、ほとんどのお店で水とおしぼりを無料で出してくれます。同時に注文した物は、タイミングを合わせて提供してくれたり、デザートは食後に運んでくれます。

次に言葉について。

日本は単一民族国家なので日常会話のほとんどが日本語で成立していたので、日本の某英会話教室の広告にある「突然あなたの会社の公用語が英語に変わることがあるかもしれません」というポスターがあるのですが、マレーシアに来るまで、そのキャッチフレーズの意味がわかりませんでした。ですが、マレーシアは多民族国家ということで、初めてそのキャッチフレーズの意味が理解できました。

日本の常識は世界の非常識というのが理解できたような気がします。あと、トイレの表示なんですけど、日本では女性トイレは赤、男性トイレは黒もしくは青で色分けされているのですが、マレーシアではどちらも同じ色で表示されていたので間違えそうになることがありました。

マレーシアの観光地で印象に残っているところは、新王宮と旧王宮です。日本で言うところの天皇陛下のいる東京の皇居と京都の御所がそれに当たるかと思うのですが、日本人でありながら私は御所も皇居も見ることがない事に気づいたからです。

今回、マレーシアに来たことによって初めて海外から日本を見ることができました。そして、「日本の文化」を初めから正しく勉強する必要があることに気づきました。

これからの日本を作っていく私たちがもつと自分の国に興味を持ち、そしてお互いの国を発展させる架け橋になればいいなと思います。



派遣先：マレーシア
京都淀ＬＣ 元生 咲

言葉の面でも苦労したこと多々ありました。ニュージランドに一年間という期間、行っている、言葉の壁は大きくて越えられるものではありませんでした。ですが、一週間が過ぎた時、生活できる程度のスペイン語を身につけようと努力しました。最初に言った言葉は「アップラテ」（急いでくれ）という言葉でした。それを言ったら皆が笑って来て今まで感じた事のない満足感にひたりました。それから興味を持ち勉強を続けています。このような素晴らしい経験を未来のため貢献できるように頑張ります。



「ペルーという国で学んだ事」

派遣先：ペルー

八日市LC 石川 瑠唯

ペルーという異国で色々な事を経験しました。一番印象に残っているのは貧富の差です。そこで僕は色々な人にその事実である「格差」について調べました。何人かの人々は、半分の人が貧しい暮らしをし他の半分が豊かに暮らすという極単純なものでした。

というのは、日本でもその状態であると思うからです。それを極端に物語っているのがペルーです。お金を持つ人が楽しみ、お金

がない人が苦しむ。これが認めざるをえない現実でした。この痛い現実を少しでも知るために、色々な人が助けてくれました。英語しかできない僕にカタコトの言葉でも伝えてくれました。僕の答えとしては「世界平和」を少しでも望むなら、今自分に必要なことをコンスタンスに行うという事です。いくら助けてくても、お金や知識がないと何もできないんだと改めて痛感しました。この事に関して、ライオンズのこのようなプログラムに本当に感謝しています。一番遠かったペルーで学べた事は群を抜いていると思っています。



私は今回、YCE派遣としてペルーに二週間ほど滞在しました。そこではたくさん経験をし、たくさんさんの事を学ぶことが出来ました。

最初に、今回の派遣は私にとって、初めての学生だけの海外でした。そのため空港では緊張して落ち着いていられませんでした。しかし、他にも4人の仲間がいたので、何も問題もなく、現地に着くことが出来ました。しかし、リマの空港について、30分ほど私のホストファミリーだけ見つかることが出来なかった時は、とても焦りました。見捨てられたのではないかと思っていました。見つけた時は、本当にうれしかったです。

私のホストファミリーは両親とお兄さん、弟さん、お姉さん、そしておばあさんの6人家族でした。最初の頃は全然会話をすることが出来ませんでした。家族の人は全員優しく接してくれ、だんだん話せるようになっていきました。この6人の中で英語が話せるのは男性陣3人だけだったので、スペイン語を話される時は、とても会話を理解するのが大変だったです。家を工事中だった為、一階が無く、リビングが無かったので、各個人の部屋しかなく、家族との会話の時間が多くなかった事が残念でした。食事も一度に4人までしか食べることがなかったので、食事は英語を話せないおばあちゃんといつよになるのが多く余計に大変でした。しかし、食事はとてもおいしく、日本とはまた違ったものが多く、良い経験になりました。3日ぐらい過ぎた時にいつの間にかお母さんがどこかに旅立ってしまいました。その時は少し驚きました。

基本的には、弟のホセ君がお父さんが私に付き添ってくれました。ホセ君とはホセ君の友達と3人で、ビーチを見に行ったり、美術館に行ったりしました。お父さんとは、リマの中心に行つて、政府の建物を見たり、教会の美術館に行ったりしました。町の風景や美術館は、日本とは違った雰囲気があり、興味がとても湧きました。大晦日の日には、ホセ君と二人でキャンプに行きました。そこで、ホセ君の友達が10人ぐらゐ居て一緒に新年を迎えました。最初は、なかなか緊張して話すことが出来ませんでした。一緒に海を泳いだり、サッカーをしたりして、打ち解けることが出来ました。周りに海がない滋賀県に住んでいる私にとって、海で泳げたことはとてもうれしかったです。

今回の派遣でたくさんさんの事を学ぶことが出来ました。たった二週間で英語が上達したかは分かりませんが、今まで食べたこと、見たこと、体験したことが無いことがたくさんあり、それらを経験出来たことはとても良かったと感じています。たとえ言葉が通じなくても心は通わせられることを実感しました。人の優しさというものも感じる事が出来ました。今回学んだこと、経験したことは将来いつか役に立つだろうと思いますので、今後たくさんさんのことに生かしていきたいです。

派遣先：ペルー
能登川LC 馬場 時生

「マレーシアでの3週間」

派遣先…マレーシア
長浜 LC 松井 愛華

2014年12月19日〜2015年1月9日の3週間、マレーシアのクアラルンプールに派遣していただきました。

短期のホームステイは初めてではなかったのですが、出発の前日までどこに派遣されるか、ホストファミリーもわからず少し不安もありながらの出発でした。私はクアラルンプールに派遣していただき、空港に着いたのですがホストファミリーの方が来られてなくて少し一人で待つことになりましたが、しばらくしてホストファミリーが迎えに来てくれました。

ファーストホストファミリーは、ホストファミリー、ホストマザー、ホストブラザー2人、ホストシスター1人の5人家族ですが、ホストブラザー1人とホストシスターは他国に留学されていて、基本はホストファミリーとホストマザーと私の生活でした。もう1人のホストブラザーは別の家に住まわっていましたが、留学経験があるためとても気を遣ってくれ、Kレタワーやツインタワーや色々な所へ連れて行ってくれました。ホストマザーはライオンズメンバーで、ホストファミリーもホストマザーも明るく優しい人ですすぐに仲良くなりました。家はとても大きな家で、食事は基本外食で屋台や色々な所へ連れて行ってもらいました。

また、知り合いの結婚式にドレスアップして連れて行ってもらったり、日本でエステの学校に行っていると話したらマレーシアのエステも体験させてくれました。クリスマスの日は知り合いの家にご飯をご馳走になり、夜はクリスマスチャンの家にご飯をご馳走になりました。向こうは色々な人を招いてパーティーをよくされるようです。

2週目はセカンドホストファミリーの所へ行きました。ホストマザーがライオンズメンバーで、ホストファミリーと子供が5人と、お手伝いさんが住み込みでいらつして、とても大きな家でした。この家では食事は基本、お手伝いさんが作ってくれ、出かける時も団体行動でした。

ホストシスターは13歳で私と同じでKPOPが好きという事で、いつも一緒にKPOPの動画を見て歌ったり、部屋にあるカラオケルームでカラオケしたり楽しみました。

カントンドアウンの日は近所のカラオケへ家族で行きパーティーしました。年明けには宮殿や噴水のイルミネーションを見に行ったり、アスレチックやプールや大きなショッピングモールにも連れて行ってもらい、最後に過ごす日には家族みんなで動物園に行きました。

3週目はファーストホストファミリーの所で過ごしました。ホストファミリーもホストマザーも仕事が多かったため、一緒に会社に行き空いている部屋で過ごしましたが、社員のお姉さんがすごく優しく、一緒に話したりご飯を食べに行ったりしてくれました。

食事は、日本では好き嫌いが多く私でしたが、マレーシアでの食事はとても美味しく中国系の食事が多いのですが、色々な国の食べ物もあり、毎日何が食べられるのが楽しみなくらいでした。レストランなどでは、コップは自分で一旦お湯をかけて洗ったり日本とは少し違う部分もありました。

マレーシアでの生活は、本当にみんな優しく、英語をあまり理解してない私にもわかるように話してくれました。

初めはよくわからなかった英語も過ごしているうちに、何となく何を言っているかわかりました。長いはずの3週間は本当に楽しくあつたという間で、他国での素晴らしい経験が出来た事を改めて感謝しています。ありがとうございました。



2014年度 冬期YCE来日レポート

「僕の日本滞在記」

アンガス・ルッソ Angus Russo (オーストラリア)
第1ホストファミリー 亀岡保津川 LC・黒川様
第2ホストファミリー 彦根 LC・西山様

私を受け入れてくれた二つの家族は、全く異なる環境にあり、全く異なる経験をさせてくれた。一軒目は高槻市在住の黒川さん。私の関心があること、滞在中に経験したいことを、体験できるよう配慮してくれた。初日には漫画好きの私のためにマンガミュージアムに連れて行ってくれた。

日本の文化に興味があると伝えたところ、興福寺、天龍寺、三十三間堂、伏見稲荷ほかに連れて行ってくれた。大徳寺では写経と座禅を体験したが、想像以上に難しかった。

ホストシスターが、三ノ宮、中華街、居留地に連れて行ってくれた。ルミナリエを観に再度神戸を訪れたが、息を飲むほど綺麗だった。ホストマザーには、新世界、心斎橋へ連れてもらった。

二軒目は滋賀県在住の西山さん。私を飽きさせないように配慮し、いつも美味しい食事でもてなしてくれた。

彦根城、玄宮園、多賀大社、永源寺温泉に連れて行ってもらった。コリアンタウンを案内してもらったが、初めてのことで良い経験となった。

英語スピーチコンテストでは、ホストシスターの興味深く説得力のあるスピーチを聞いた。

後半は、地区やYCEのOBOGが企画してくれたイベントに参加して過ごした。京都・大阪・神戸観光・伝統文化体験、USJ、スキークャンプ、京都むらさき LC の佐々木さん宅でのXmasパーティー。



Daljeischさん達と嵐山に行き、保津川下りをして、紅葉を楽しんだ。受け入れてくれた亀岡保津川 LC、彦根 LC にもとても感謝している。



ヨン・ワイ・イー Yong Hui Yie (マレーシア)
第1ホストファミリー 京都淀LC…朝倉様
第2ホストファミリー 京都洛東LC…岡田様
第3ホストファミリー 京都洛東LC…土手様

私が日本に着いて初めて抱いた印象は、美しい景色と最新のテクノロジーでした。しかし、約一ヶ月間の滞在を終えたいま、日本は文化的・伝統的にとても豊かな国だと感じました。滞在中3家族にお世話になったおかげで、それぞれ異なったライフスタイルも理解することができました。

マレーシアからの約10時間のフライトの後、私と友人たちは緊張と興奮を抱きながら関西空港に降り立ちました。「ホームステイとはどんなものかという気持ちで、少し不安でもありました。私の第一ホストは朝倉ファミリーでした。朝倉たけひろさんと、娘のいくえさんが迎えに来てくださいました。いくえさんがウエルカムカードを用意してくれたのが、とても嬉しかったです。

次の日、京都淀ライオンズクラブ恒例の餅つき大会に参加しました。メンバーのゆきこさんが、私たちに着物を着せてくれ、柳が崎湖畔公園の美しいイルミネーションに行きました。ゆきこさんのご祖父母様とは、金閣寺と京都美術館の日程にも行きまして、夜はすき焼きを作ってお手伝いしました。朝倉ファミリーと、京都淀ライオンズクラブ会長の岡田さんと、副会長の浦井さんと共に、京都市副市長の藤田裕之さんに会いに行きました。その他、新京城、平等院、嵐山、伏見稲荷神社も観光しました。朝倉ファミリーは、とても楽しく、たくさんの日本文化、そして基本的な日本語も教えていただきました。大変有意義な滞在となりました。

12月17日、私と友人は、3350地区村岡ライオンズクラブの方々と共に、1泊2日のスキーキャンプに出かけました。メンバーの方々は皆とてもウエルカムで、快適なお宿に宿泊しました。メンバーの方々からスキーの滑り方も教わりました。スキーキャンプでは友人もでき、とても素晴らしい時間となりました。スキーキャンプの後、リーガロイヤルホテルで開催されたガバナ―主催のパーティに出席し、これからお世話になるホストファミリー2家族に初めてお会いしました。素晴らしいイベントでありましたと同時に、お世話になった朝倉ファミリーとお別れするのが寂しくもありました。

2番目の家族は、岡田ファミリーでした。岡田一家は楽しく元気のよいご家族です。家族構成は、お父さんの岡田治樹さん、お母さんの岡田しのぶさん、一人の娘のしゅりさんとあやさんです。岡田ファミリーと清水寺、新京極に行き、抹茶アイスクリームを食べ、ボーリングを楽しみました。夜は新しい日本語の単語を一緒に勉強したおかげで、ほかの日本人ホストとのコミュニケーションが取りやすくなったと思います。またマレーシアと日本文化の違いなども話し、楽しめました。岡田家に滞在している間、池坊短期大学でOB・OGメンバーによるカルチャーイベントに参加しました。このイベントはむらさきライオンズクラブによるもので、生花や茶道、日本のしきたりなど学びました。特に茶道のお作法は、興味深かったです。

12月22日、私は3番目の家族、土手ファミリーにお世話になりました。土手ファミリーは優しく思いやりのある家族でした。お父さんの土手英範さん、お母さんの土手美穂さん、お兄さんの土手ハバは思いやりがあり、私や家族のために美味しい朝食を用意してくれ、クラブの行事に参加する前にはおやつを準備してくれました。土手ママと娘の千果さんは、忙しいスケジュールにも関わらず私とお話する時間を割いてくれました。その時間がとても楽しかったです。

また友人何人かと、USJにも行きました。クリスマスが近かったため、大勢の人が家族連れで来ており、どのアトラクションにも長い行列ができていました。OB・OGメンバーがエクスプレスチケットを用意してくださっていたけれど、アトラクションに乗るのに1時間も並ばないといけなかった程です。USJでは、特にハリウッドタワーとジェットコースターが気に入りました。夜はクリスマスパレードを楽しみ、日本でも一番高いクリスマスツリーには圧巻でした。OB・OGメンバーのけんごさん、なおやさん、みゆきさん、まさやさんにはこのような素晴らしい思い出に残る経験をさせて頂いて大変感謝しています。その他にも、OB・OGメンバーは佐々木家でのクリスマスパーティーも企画してくれました。とても美味しい料理で、友人たちとパーティーを楽しみました。

土手家にお世話になっている間、土手ママの妹、久子さんにもお世話になりました。久子さんは、私とマレーシアからのユースエクスチェンジの友達を頻りに連れて行ってくれました。久子さんと娘の麻衣さんは、とてもフレンドリーで感じが良かったです。滞在中、和菓子作りを体験しました。日本のかわいなお菓子かどのように作られているのを知り、とても良い経験になったと思います。麻衣さんと一緒に、お好み焼きを食べに行きました。お好み焼きを食べたのは、人生で初めてでした。

私は今回の日本滞在で多くのことを学びました。お鍋、すき焼き、お好み焼きなど、初めて食べる日本食もありました。生け花や茶道、日本のしきたりも学びました。

これらの楽しいアクティビティの一方で、滞在中いくつかの問題にも直面しました。言葉の壁があったため、ホストファミリーと私の間で小さなコミュニケーションギャップがありました。これらの経験から、海外に行く際は、その国の基本的な言葉や文化を学ぶこと、お互いの誤解も少なくなり、その国の理解が深まるのと感じました。

一方で、マレーシアと日本の違いは左側にありますが、マレーシアでは、飲食をしないといけないとホストファミリーから教えてもらいました。日本では人々はいつも時間を守って行動します。また工スカラーターに乗る際は、右側もしくは左側に寄りますが、マレーシアでは、人々は気にしません。約一ヶ月間の日本での滞在は、本当に楽しいものでした。

最後に、このような素晴らしい経験をさせてくださった全ての方々に感謝致します。朝倉ファミリー、岡田ファミリー、土手ファミリー、久子さん、麻衣さん、京都淀ライオンズクラブの皆様、京都洛東ライオンズクラブの皆様、村岡ライオンズクラブの皆様、むらさきライオンズクラブの皆様、ゆきこさん、京都淀ライオンズクラブ会長・岡田さん、浦井さん、京都市副市長の藤田裕之さん、ガバナ―の森井土郎さん、OB・OGメンバーのけんごさん、なおやさん、みゆきさん、まさやさん、本当にありがとうございました。



「古都のあたたかさと美しさ」

エリン・チャイ・ペイ・イン Eileen Chai Pei Ying (マレーシア)
第1ホストファミリー 337複合地区
第2ホストファミリー 京都むらさきLC…佐々木様

日本の古都、京都。日本の長い歴史の神秘さと美しさが好きなので、私の2つ目のホームステイ先が京都でもとてもラッキーだと思っています。私のホストファミリーは佐々木家で、この家族にはとても感謝しています。私が関西に到着した時あたたかく迎えてくれたし、とても親切で感謝しています。佐々木家は私を絶対1人にしてませんでした。私のホストブラザーであり私のスケジュールやYCEの管理をしてくれたOBやファミリーのメンバーである、めーちゃん、つーちゃん、あとホストブランドマザーがイベントの後、車で迎えにきてくれたからです。私の2人のホスト(弟)はとてもやさしくしてくれて、冬なのに私の心はあたたかかったです。

海外から来たYCEのメンバーに会えたのも楽しかったです。嬉しかったです。ここにいる間、みんな友達になれたし、皆でスキーなどたくさん活動をしてとても嬉しく思います。生け花、茶道、新幹線、クリスマスパーティー、京都・大阪観光もしました。そして、ユニバーサルスタジオジャパンにも行きました。私たちのアクティビティを手配して下さったライオンズクラブに感謝しています。とても楽しかったです。

日本の食べ物はずごく美味しかったです。すきやき、てんぷら、スープなど、私のホストファミリーが準備してくれた物全てが好きです。回転ずしにも挑戦しました。あと、お好み焼きも食べました。この短い期間に私にいろいろな地元の味をトライさせてくれた佐々木家にも感謝しています。

京都観光はとっても楽しかったです。とにかくスケジュールがハードだったので、一緒にいる時間が短くて少なかったのが少し残念だけど、佐々木家でホームステイできてすごく嬉しいです。

最後に、日本に来る機会を与えてくれた私の両親、マレーシアライオンズクラブに感謝しています。私は日本の文化をたくさん学びました。そして、世話をしてくれたい日本のライオンズクラブにも感謝しています。



「日本のおもいで。」

アシユリー・ジェーン・リバーズ

Ashlee Jane Rivers (ニュージールランド)

第1ホストファミリリー 宇治LC・佐原様

第2ホストファミリリー 京都橋LC・鎌谷様

こんにちは。私はアシユリー・リヴァースで、ニュージールランドの交換学生です。この素晴らしい機会がありがとうございしました。私は母、妹、猫と犬と一緒にパーマストンノースに住んでいます。私は、漫画、スタジオジブリ、買い物や絵を描くことが好きで、日本文化にとても興味を持っています。

日本で私は2つの家庭に滞在しました。最初は宇治市、次に京都市でした。最初に日本に到着したとき、私は驚きました。それは日本がとても寒かったことです！なぜなら、ニュージールランドは夏ですが、日本は冬でした。最初の家族は佐原家族でした。私のつとむお父さんは、面白く、ともにお母さんは、非常に優しく、同い年のたつこは素敵な人でした。私がタカアシガニをみたいと言っていると、海遊館に連れて行ってくれました。

最初の2週間は、スキー、観光や華道などの多くのライオンズクラブ活動があった。

一番楽しかったのは、USJです。ハリーポッターが大好きだからです。



第二の家庭は鎌谷家族でした。裕介お父さんは親切で、佐和子お母さんは楽しく、3歳上の有紀子は、かわいかった。私は、家族が集まっておせちを食べるなどの様々な新年の活動を楽しんだ。また、興味深い初釜も楽しんだ。私のお気に入りの寺は金閣寺で、私が金閣寺に行った時は雪が積もっていた。

私は日本で楽しく過ごしました。日本は美しく、京都の人々はとても親切だと思います。いつかまた日本にきたいです。日本文化を体験できたことに感謝しています。



「京都、水口を訪問してーホストファミリリー、ホストクラブ様への御礼ー」

アントニオ・シモン Antonio Simon (イタリア)

第1ホストファミリリー 京都堀川LC・永禮様

第2ホストファミリリー 水口LC・西山様

私は、日本に3週間滞在させて頂きましたが、まだ夢のようで信じられません。それは、私が生涯決して忘れる事が出来ない、疑う余地のない驚くべき経験でした。そして、このことに、私はライオンズクラブ国際協会に対し、感謝申し上げます。ライオンズクラブ国際協会は、少年と少女にこの素晴らしい旅の経験を与えて下さいました。ホストファミリリーの方々、お世話をして下さったホストの方々、そして私はチャンスがあるやいなや再び日本に行くだろうと確信しています。

私が眠りから覚めて日本に到着した時、イタリアを出発して24時間が経っていました。私は、私のホストファミリリーである永禮ファミリリーのケイタ、トモコとコトハに出会いました。最初の10日間は彼らの家に滞在しました。彼らは京都の郊外にある京田辺市に住んでいました。

翌日、私は伏見稲荷へ出かけました。伏見稲荷大社は大変美しい神社であり、私が日本で見た最も印象的な場所の一つです。

月曜日、私は京都へ行きました。そして、金閣寺へ行きました。金閣寺を見て本当に驚きました。それから、西陣織物センターを訪ね、驚いたことに、私は着物に参列しました。そして、私は着物で京都と北野神社へ行きました。明るく、他の男の子と女の子に会い、私は京都水族館と京都タワーに行きました。私は夜に出発して翌朝村岡に行きました。そこで、私とたくさんの少年、少女達はスキーをしました。私はそこで初めてスキーをし、スキーを本当に楽しめました。

私が京都に戻った次の日、大きな清水寺へ行った後、森井ガバナールとライオンズメンバーの皆様と一緒に昼食を頂きました。(森井ガバナールはナイスガイだった)その日の午後、私は私の友人と家族にいくつかのお土産を買いました。明るく、私は生け花や茶道などいくつかの伝統的な活動を行いました。しかし、その日の夕方、私は京田辺に戻らず、その代わりとして尾道へ行きました。なぜならば、次の日、呉と広島に行く為に、私は、呉市海事歴史科学館(ヤマトミュージアム)、軍港、および爆心地を訪問しました。私は美術館を本当に満喫し、広島は非常に印象的でした。

私は、次の日マンガ美術館と大規模な二条城を訪問しました。あいにく、次の日、私は最初の家族と別れねばなりませんでしたが、そして、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅行の後、夜遅く、滋賀県甲賀市に着きました。そこで、私は西山ファミリリーに出会いました。ノリオ、父、サチエ、母、リョウ、息子、およびキヨ、祖母。彼らはその兄弟姉妹達と一緒に良い旅館を経営しておられ、私はホームステイの後半をここで過ごさせて頂きました。

甲賀市での最初の日、私は消防署と市庁舎を訪問しました。そこで私は市長さんに出会いました。午後、私は水口城資料館を訪問しました。最後に、その日はちょうどクリスマスで、私は水口センチュリーホテルで水口ライオンズクラブのメンバー様とご家族と一緒に食事をしました。私の歓迎会を開いて下さいました。歓迎セレモニーと食事の後、私はビンゴなどのゲームをして楽しめました。

翌々日、私は美しい自然に囲まれた巨大な城、彦根城へ行きました。そして、次の日は忍者美術館に行きました。そこで、私は忍者が使った武器と驚嘆のシミュレーションされた戦いの計略を見ました。

新年のイブの前日、私は餅を強く打ち、新年には、私は巨大な遊園地ナガシマスプリングへ行きました。

私は次の日(新年をまたいで)午前3時に甲賀市に戻りました。その日の午前中、私は田村神社へ初詣に行きました。田村神社は、荒々しい気質の立派な神社でした。私は家に帰ると、雪が降り始めて、夜にはすべてが真っ白になりました。私は雪の中で遊ぶのを本当に楽しめました。

その次の日、あいにく、帰国の為大阪に行く必要があったので、私はそこを去らなければならませんでした。その夜、私は光のトリックによって飾られた大阪城へ行きました。私はここでショーを本当に楽しめました。

翌朝、私は日本を去らなければならず、そしてあいにく、私は帰国しなければならなかった。私はもつと日本に滞在したかったです。この忘れられない旅行を企画しお世話頂きました皆様、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。



ライオンズクラブ対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座



12月2日(火)13時30分よりリーガロイヤルホテル京都にて開催いたしました。地区ガバナーL森井士朗を始め、ライオンズクラブより48名の受講がありました。地区ガバナーL森井士朗の挨拶のあと、基礎講座(二講)と専門講座(四講)を受講していただきました。

次 第

1. 開講式
来賓、講師並びに地区役員紹介
挨拶
- 司会 地区青少年育成副委員長 三浦 治
地区ガバナー 森井 士朗

I 基礎講座

2. ビデオ講座「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止教育ビデオ 13:45～14:00
薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」か(15分)
3. 基礎講座「医学知識」「薬物乱用と身体への影響」(30分) 14:00～14:30
医学博士 万本 盛三(DVD)
- 休 憩 14:30～14:40

司会 地区青少年育成副委員長 入柿 浩二

II 専門講座(ステップアップ講座)

4. 専門講座「行政事情1」「薬物乱用の実態・捜査現場の状況など」 14:40～15:10
京都府警察本部組織犯罪対策第三課 指導係 係長 辻 健 様
5. 専門講座「行政事情2」「京都府における危険ドラッグ対策について」 15:10～15:40
京都府健康福祉部薬務課指導・啓発担当 技師 細井 允貴 様
6. 専門講座「行政事情3」「教育現場より」 15:40～16:10
京都翔英高等学校 副校長 足達 靖彦 様
(名誉顧問・元地区ガバナー 京都やわたLC)
7. 専門講座「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」 16:10～16:20
公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター専務理事 阿部 俊三
8. 閉講の辞 地区青少年育成委員長 小西 秀樹

薬物乱用防止教育に関するアクティビティの拡充また推進に取り組んでいただければと思います。

地区青少年育成委員長 小西 秀樹

第2回 新入会員オリエンテーション



2014年12月4日(木)年内押し詰まった中、リーガロイヤルホテル京都2階「朱雀の間」に於いて第2回新入会員オリエンテーションが15時より第1回同様、地区指導力育成(GLT)副委員長し大西隆徳の司会で開催されました。

出席者は地区ガバナーし森井士朗名誉顧問・元地区ガバナー、地区GLTコーディネーターし杉山 修、地区指導力育成(GLT)委員長し井尻正義をはじめ12名の地区役員、26名の新入会員です。

挨拶の後、地区指導力育成(GLT)副委員長し植田博文のライオンズクラブとはと題してライオンズクラブの目的、歴史等の説明があり、その後大西よりアンケートの説明そしてパネルディスカッションとなりました。

パネリストは、し杉山 修(入会後40年)、京都平安しし岡村 健(10年)、亀岡しし小笹恭裕(5年)、奈良しし岡堅英幸(15年)、コーディネーターし井尻でスタートしました。

各自「入会前と入会後のイメージの違い」「金銭負担はあるものの人前で話が苦手であった事が出来るようになった」「異文化の人との交際ができる」「一人では恥ずかしく出来ないことも団体では実行できる」「時間の配分能力が養われた」「会員数が減少したが意識・目的等まとまる様になった」等、我々も経験した事が発表され納得できる事ばかりでした。

休憩後グループ討論となり、各テーブルで有意義な意見交換があり、代表者により発表されまして、地区指導力育成(GLT)副委員長し西川一彌の閉会挨拶で終了いたしました。

335複合地区主催 女性会員増強ワークショップ開催



1月22日、京都ホテルオークラで『335複合地区主催、女性会員増強ワークショップ』が開催され、335複合地区より320名の会員が参加しました。京都での開催でもあり、又、新春にふさわしいおもてなしの事で、会場前のロビーにお茶席を設け、琴の音色の中、お茶を一服いただきながらワークショップ前のひと時を過ごしていただきました。

複合地区女性会員増強委員長し児玉保次より開会の挨拶及び本日の主旨について説明された。4地区内の会員が一つのテーブルにつき昼食をしながら自己紹介を兼ねて他地区の会員と親睦を深めた。

その後、当日のテーマ『女性社会の含み資産、眠れる女性パワーの発掘を』に沿ってディスカッションをし、各テーブルごとに話し合った結果を『これから始めるべきこと』『このまま続けるべきこと』『今すぐ辞めるべきこと』にまとめて発表しました。

当日は、男性会員も多数で参加いただき「女性の力を生かすには男性会員の意識改革も必要である」との意見も数多く出され耳を傾けていただいたことと思います。

このたびのワークショップでは普段は接することの機会のない仲間と情報を分かち合い、意見を交わして、新たに気付かされたことや提案されたアイデアがたくさん出されました。その成果を各自がクラブに持ち帰り、今後のクラブ運営やアクティビティーに役立ていただきますようお願いし、ワークショップを終了した。

なお、当日の討議された事項は後日各クラブへ送付いたします。

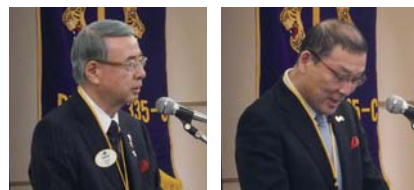
335-C地区

女性会員増強委員長

村上美恵子

第7回 次世代リーダー育成セミナー

「地区の課題、クラブの課題・・・ライオンズサクセスの再確認」



大寒入りではありませんが、暖かい陽射しに恵まれた日、強い志をもった19名のライオンと12名の地区役員が参集し、1月24日（土）リガロイホテル京都に於いて、第7回次世代リーダー育成セミナーが、地区次世代リーダー育成プロジェクトアドバイザーの市田昌生の司会進行のもと、午後2時より開講されました。指導力育成（GLT）委員長のしん尻正義から御礼をこめて、今回の講師である元国際理事333・C地区柏中央ライオンズクラブのし後藤隆一を紹介がなされました。そして、出席者のご紹介に続き、地区ガバナー森井士朗より正月に鞍馬山登山をした時のエピソードで場を和らげた後、今期の重点課題である家族会員増強に際して、目標数を越え、335・C地区として会員4065名を達成したとの報告と協力感謝の辞がございました。続きまして、名誉顧問会議長・前地区ガバナー・地区次世代リーダー育成プロジェクトコーディネーターのし児玉保次からは「今後の組織改編では必ずここにおられる皆さんのお力が必要になる時がきます」と激励のお言葉を発せられました。

講演におきましては、講師であるし後藤より、クラブサクセス、所謂会員維持・よりよいクラブ運営に際しては、国際協会の両輪であるGMT（会員増強）とGLT（指導力育成）が、キーワードであるという力強いお言葉から始まり、時代が移り変わってゆく中で、次の世代を担うリーダーを探し出すべく、育成機会情報伝達・リーダー候補を励まし続けていく・育成研修を受講した人は積極的にクラブに関与してゆく場を与える・と基調を示された後、クラブ全体の喫緊の課題である会員増強・エクステンション・少数クラブ支援・再建・老青壮・男女のバランス・リーダーシップに対して、果敢に取り組んでいく姿勢をしっかりとした形に示して、重要性を説かれました。同時に、運営の活性化（伝統と改革）、アクトビティの選択（努力と金銭）、同志意識の広がり（ネットワーク・仲間意識の拡大）といった運営課題にも真摯に向かい合うことも大切であることをご教授くださいました。そのためには、若手リーダーの育成は責務であり急務であることを提唱され、「貴方様クラブの10年後を担う方は誰ですか？」と投げかけられました。伝統作法の見直しとどこまで守り伝え、何を改革するのか、出席状況の緩和、食事提供の有無の是非、例会や委員会等々のスマート化、ネットワーク尊重（他クラブへ出向しての研修体制構築、適正な会費等々の観点から、新会員を始め、若い世代の方々への配慮についても大切であると述べられました。若手には、早い時期に役職に就いてもらい、居場所をつくり、発言を歓迎し、知識・技能を取り上げて活用をしていく、といったことへの進言もございました。また、新しいクラブ像につまみしては、キャンパス・Cを始め、レオ、スペシャリスト、サイバー・クラブ支部などについての説明がございましたが、その中でも、女性会員の増強を強く訴えられました。女性会員が増えれば、異なる視点からの発想、実地参加型の事業の増加、女性指導者が増加、如いては会員増強につながることを強調されました。

クラブの課題についての意見交換時は、参加されました19名の参加者から個別に発表がございました。主だったご意見としましては、①会員増強 ②国際大会・地区行事・アクトビティ・例会への出席率 ③若手育成などについて、課題はあるものの、全員が前向きな姿勢であることが、よく分かり、講師のし後藤からも、安堵の表情でクラブ強化に邁進して行つてほしい旨の激励がございました。

今回も明日のライオンズクラブを担う大勢のリーダーの皆様に御参集賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

地区キャビネット運営委員長
古澤 昭人



335-C地区・335複合地区 ライオンズ環境保全写真コンテスト



最優秀賞

「今日の夕【きょうのゆうべ】」

京都桃山LC 小島 範彦

ライオンズ環境保全写真コンテストの335-C地区審査会が1月18日（日）キャビネット事務局において、また335複合地区審査会が1月27日（火）ガバナー協議会事務局にて行われました。

335-C地区応募総数25点の中から、優秀作品として地区ガバナー賞・地区幹事賞・地区委員長賞・入賞2点の合計5点を選出させていただき、その後335複合地区ガバナー協議会事務局管理委員長L津田勝之、335複合地区環境保全委員長L其浦宏次、環境保全委員会メンバー合せて6名で厳正に審査を行いました。その結果、京都桃山LC L小島 範彦の今日の夕【きょうのゆうべ】が複合地区最優秀賞に選出されました。

今年度も環境問題への意識向上を図る為、多くのメンバーに応募依頼の呼びかけを行った結果、例年と同様多くの出展がありました。

入賞作品は、年次大会当日ロビーにて展示を行います。

今回ご応募いただきましたメンバーの皆様には、役員一同心より感謝申し上げます。

335-C地区環境保全委員長 西川 勝

335-C地区 入賞作品一覧

RZ	クラブ名	氏名	題名	分野	賞	複合地区審査結果
6R1Z	志賀堅田	佐野 高典	堅田内湖の環境保全	特別	地区ガバナー賞	優秀賞
2R3Z	京都華頂	古村 清	かがし	景観	地区幹事賞	
8R2Z	大和郡山	五師 正治	炭で桜元気に	特別	地区委員長賞	
4R1Z	京都桃山	小島 範彦	今日の夕【きょうのゆうべ】	景観	入賞	最優秀賞
6R2Z	近江守山	川北 美津夫	マザーレーク	景観	入賞	

アイバンク通信

❖角膜移植の歴史について

①1789年、フランスのペリエ・ド・ケンシーが、ガラス玉を使って角膜移植を試みたのが、世界で最初の角膜移植手術と言われています。勿論上手くいくはずもなく、結果については何の記述も残っておりません。その後世界では、動物の角膜・セルロイドやベークライト・人の角膜などで試行錯誤が行われました。その結果、人には人の角膜が最も適合し移植可能なことが判りました。

②1924年、ソ連のオデッサ大学のフィラトウ教授が、死体からの角膜移植が可能であり、有効であると学会で発表し、1928年、教授自ら死体の角膜による角膜移植に成功し実証しました。

これを契機として、角膜移植は実用的な眼科手術の一つとして認められるようになり、またあらゆる移植の中で、世界で初めて行われたのが角膜移植となった訳です。

③1944年、ドナー角膜を確保するため、世界初のアイバンクが米国のニューヨークに、ライオンズクラブの協力のもとに設立されました。

一方日本では、1957年に岩手医大の今泉亀徹教授が献眼による角膜移植を行い、これが刑法の死体損壊罪に抵触するのではと大きな社会問題になりました。

その結果、「今泉氏の行為は、法的には問題があるとしても、社会性に富んだ正当な医療行為で、且つ、医師として全く崇高な行為であるから、道徳的、人道的にみて犯罪の成立は認められない。」との最高検察庁の正式見解が表明され、加えて、角膜移植法の成立遅延の方に罪があるとしたのです。

④その後、1963年に、日本最初のアイバンクである慶大眼球銀行と、順天堂アイバンクが設立されました。現在我が国では、54ヶ所のアイバンクが活動を行っています。

❖多額の支援金を有難うございました。(2014.10.26～2015.1.23)

(クラブ) ※敬称略	京都桃山	400,000	(アクティビティ募金)	
	大和郡山	30,000	※敬称略	
	京都薫風	10,000	2R合同アイバンクキャンペーン	104,213
(個 人) ※敬称略	岡本喜久穂	6,978	河辺いきものの森(八日市)	55,305
	いもぼう平野家本家	4,770	身障者餅つき大会(京都淀)	39,942
			大和郡山城址清掃(大和郡山)	19,371
			生き生き健康フェスタ(京都淀)	16,908
			競馬観戦ツアー(京都淀)	13,000
合 計				¥ 700,487

クラブ便り

園部LC

2015年青少年交流フィリピン支援事業に向けて

本年度園部ライオンズクラブは、フィリピンの首都マニラから北西に約40kmほど離れた、ブラカン州の州都マロロス市の貧困層への食事の提供と就学支援、さらに将来、国際的な奉仕活動を担える次世代育成を願って、園部クラブの地元の京都府立園部高校生をマロロス市へ派遣し、メンバーと共に奉仕活動に参加させる事業を中心に活動が続いている。高校生は2年生を対象に募集し、9月早々に15名の希望者から9名の選考を終えた。この事業は、来年1月に現地のマロロスライオンズクラブの協力も得て、現地で実施する予定だが、すでに9月第二例会には、現地でボランティア活動を行っているリーダーとスタッフを招いて、9名の高校生にも参加してもらって、現場の生の声を聞くことができた。また、10月下旬には会長と幹事が現地に入って、マロロスクラブメンバーと交流し、両クラブ合同例会や晩さん会、宿泊先などの手配を進めるとともに、極めて劣悪な状態にある最貧困層の集落を訪ねた。トイレも電気も水道もガスも一切無縁の集落を見て、幹事は言葉を失ったほどであったが、我々の事業が間違いなく彼らに希望と勇気を与えることにつながる、会長の私は確信をした次第である。

幹事は、このような厳しい実態に置かれた人々に対するたった一回の奉仕活動にどれほどの意義があるのかと自問自答していたが、私は、たとえ一回であっても、あたかも社会から見捨てられたかのような境遇にある人々が、空腹を忘れ、満ち足りた気持ちの中で人の世の愛を感じてくれることになれば、それは実に尊いことであり、未来への希望に目覚めるきっかけになれば嬉しいし、だからこそ現地でたった一回の奉仕であっても大きな意義があると思っている。そして高校生と二人でも多くのメンバーが共にこの集落を訪ね、彼らの実態に直接触れて、改めて we serve の精神に強く目覚める動機づけにもなれば、これほど嬉しいことはないし、これまたたった一回であっても実に意義深いと信じる理由である。

さて、なぜマロロスなのかという点についても触れたいが、紙数の関係で省略しなければならない。ただ、実はここに至る背景には大きな大きなドラマがあったということだけは付け加えておきたい。

会長 小泉 顕雄



草津LC

滋賀の自然と環境体験バスツアー

2014年11月9日(日)草津市国際交流協会(KIFA)主催の「滋賀の自然と環境体験バスツアー」に行つてまいりました。

KIFAは、平素から日本人と外国人との交流を通じて、それぞれの文化などを理解し合い、お互いに暮らしやすい環境づくりを提案されています。

今回は、タイトル通り、滋賀県の自然や環境を体験しながら、併せて交流も図ろうという企画です。参加者は総勢85名で、そのうち外国の方が48名でした。

バス2台で草津市役所を出発し、立命館大学びわこ草津キャンパスを経由して、最初に向かったのは、アグリパーク竜王での「芋掘り体験」でした。小雨のぱらつく中でしたが、みなさん、沢山のさつまいもを掘り出していました。その後、ホクホクの焼き芋をいただきました。

続いて、高島市今津町へ移動し、今度は「そば打ち体験」です。そば粉をこねて、丸めて伸ばして、切つて、茹でて、美味しくいただきました。(茹でるのは、施設の方にいただきました)

そして最後に向かったのは、高島市新旭町針江地区の「川端(かばた)体験」です。かばたは、比良山系の伏流水が豊富に湧き出る針江地区ならではのものです。この水は、飲料水としては勿論、生活用水としても使われます。ただし、排水として出す場合に、できるだけ綺麗な状態で排水するよう、洗剤はてんぷら油を再利用した自然素材の物を使うとか、鯉などの魚を離すことにより微生物などを鯉が食べてくれるとか、街中を流れる川の水は非常に綺麗でした。

今回の体験で、多くの出会いと触れ合いがありました。私自身も楽しめましたし、本当に良い経験ができました。参加されたみなさん、ありがとうございました。

青少年交流委員長 東 英一郎



クラブ便り

八日市にて

第13回親子写生大会(ビートルフェスタ)in河辺いきものの森

八日市ライオンズクラブ(村田富一雄会長の青少年育成事業の一環として)「親子写生大会」が、11月9日(日)に東近江市内の河辺いきものの森において午前10時から開催された。本年度13回目となるイベントであり、当日はあいにくの雨模様であったが、約150名の親子の参加を得て行うことができた。

当写生大会は、「水と緑で世界を結ぼう」というスローガンのもと、自然の中での写生大会を通じて親子の触れ合い・きずなを深めると共に未来を担う子ども達も地球環境の大切さを認識する一助になればという目的で行われている。

参加者はそれぞれ雨を避けながら思い思いの場所で、八日市ライオンズクラブから提供された絵の具やクレヨンを使って親子で語らいながら絵を仕上げていった。中には提出時刻(午後2時)を過ぎても絵筆を離さずにいる子もおり感心させられた。これらの作品は、後日審査され表彰、また展示がアピアシヨッピンングプラザにおいて行われる。

一方、写生の他にもクラブ員が育てたカブトムシの幼虫を希望者に配布し、翌年の夏まで「カブトムシの育て方教室」があり、命の大切さを育むことにも寄与出来たと思われる。さらに、子どもたちの安全を見守る東近江市商工会青年部の地域見守り隊「赤レンジャイ」によるパフォーマンスも本イベントの盛り上げに一役買っていた。

毎回、昼食はクラブ員手作りのカレーライス、うどん、ジャガバターが無料でふるまわれ、こちらも大人気であった。

今回のイベントに併せて、アイバンク光の会基金管理会の奥村啓二理事長他5名の方々が来会され献眼推進の啓発をされ、写生大会の参加者から献眼登録・募金に協力いただいたことも特筆すべきことであった。

八日市ライオンズクラブ P R委員長 瀬戸 俊男



奈良セントラルにて

青少年の健やかな成長を願って バスケットボールクリニック2014開催

平成26年9月21日(日) 奈良セントラルライオンズクラブ(木田徳幸会長/37人は奈良市立三笠中学校において、昨年に引き続き「バスケットボールクリニック2014」を開催いたしました。

2020年の東京オリンピック開催も決定し、スポーツへの関心が高まる中、当クラブは「青少年にスポーツを通じて、未来への夢を育ててもらいたい」と考えて地域に根差した奉仕活動を行っています。

当日は、奈良市内のミニバスケットボール選手67名と三笠中学バスケット部員30名の合計97名を対象に、プロバスケットチーム「バンビシャス奈良」の選手が講師として練習指導をして頂き、楽しい充実した時を持つことができました。当クラブからは15名の会員が、当日の司会、記念撮影、記念品贈呈、会場設営、駐車場整理等の雑用係を引き受け、縁の下力持ちとしてクリニックの運営に当たりました。

「バンビシャス奈良」は、2013年よりbリーグに参加したプロバスケットボールチームで、地元奈良県をホームタウンとする、初めてのプロ球技スポーツチームでもあります。チームは、私たちライオンズクラブと同様に、スポーツを通して、子供たちに夢を与え、奈良の文化から経済まで地域の活動に貢献することを理念に活動されています。

三笠中学校のバスケット部員は、「バンビシャス奈良の稲垣諒選手は、三笠中学の先輩だよ!」プロ選手と練習が出来て良かった!」などと私達に話してくれました。

さらに、参加された椿井アキズ(12名)、大安寺西ミニバスケットボールクラブ(23名)、佐保ミニバスケットボールクラブ(16名)、佐保川ミニバスケットボールクラブ(16名)の選手や保護者の皆さんからも、当クラブにお礼の言葉を頂き、木田徳幸会長の本年度方針である、感謝のところで奉仕活動、をさらにに行っていかなければならないと感じております。

教育市民委員長 中島 秀利



クラブ便り

志賀堅田LC

第31回 少年少女球技大会(秋のバレーボール)

2014年11月16日、我が志賀堅田ライオンズクラブが主催する少年少女球技大会が開催されました。この球技大会は毎年、地元の小学生及びスポーツ少年団等を対象に春はサッカー、秋はバレーボールと年2回開催しております。青少年の健全な育成を願う我々の願いの元、31年間という長い歴史を持つアクティビティです。

開催前には各チームの監督及び開催地となる小学校の先生方と共に当クラブの当該委員等と積極的に綿密な打ち合わせを行い、当日のスムーズな進行に努めました。

今回会場となったのは大津市立木戸小学校・小松小学校です。

小学6年生から下は小学2年生程度まで混合で1チームとなっております。高学年生はまだあどけない目下の学年生を気遣いながら、低・中学年生は先輩方を敬いつつ声援を送り、小学生といえどもスポーツマンシップにのっとった正々堂々としたプレーを繰り広げてくれました。

この中にも、もしかしたら将来、我がライオンズが主催しています大会を機にプロのバレーボール選手を志す青少年がいるかもしれないと思いますと大変意義のある活動であることが熱くなりますし、更にはこのようなアクティビティを長きに渡って途絶えさせることなく継続されてきた先輩ライオン方には尊敬の念を禁じ得ません。

志賀堅田ライオンズクラブ 隈元 ひかる



京都桃山LC

桃山語り部の道清掃



11月22日(土)当クラブが結成40周年記念事業の一つとしてクラブ発祥の地、宇治川派流・伏見港公園一帯に記念碑を建立、またその一帯に桜やユキヤナギなどの植樹をした「桃山語り部の道」を環境保全管理の一環として清掃作業を行いました。



晴天に恵まれ、地元の方は散歩やウォーキング、 moreover 釣りを楽しむ方や、結成50周年記念事業の一つとして「龍馬とお龍、愛の旅」ブロンズ像の前で雑誌の取材をされている

る方々、観光客の方々に賑わう道を、手袋・ゴミ袋・ほづき・ちりとりを持ち、空き缶・空き瓶を中心とするゴミ拾いをしました。

桜の咲く季節以外でも地域内外から沢山の方々に賑わう「桃山語り部の道」を今後も管理清掃し益々地域の活性化に繋がる事を願います。

PR・情報・IT委員長 栗林 勉

クラブ便り

京都淀LC 生き生き健康フェスタ

2014年11月20日(木) JRA京都競馬場内 シグネットホールにおいて、淀・淀南・納所・久御山にお住いの皆様をお招きし、広く地域住民の皆様に健康に対する認識を深めていただくことを考え、京都淀LC2014年度メインアクティビティ「生き生き健康フェスタ」を開催致しました。

講演会では、講師に医療法人社団淀さんせん会金井病院整形外科部長の劉医師をお迎えし「健康寿命をのばそう(京今日) からロコモチャレンジ」という演題で、運動器の移動機能の低下の進行を抑え、健康寿命を延ばし、元気に明るく楽しく生活するためのロコモ予防を劉医師がご出演された番組VTRとともにわかりやすくご講演頂きました。また講演会にご参加して頂きました方全員に記念品(ミニバン)を進呈、実演を交えてのロコモチャレンジ。

会場内では、金井病院様、淀の里様のご協力のもと健康相談と体力チェック、介護相談が出来るコーナーを設け、行列をつくる程の大盛況となりました。

また開会式では、伏見区役所副区長長川勝秀様、久御山町民生部部長今道耕治様よりご祝辞を頂戴し、淀・淀南各連合自治会会長様・納所自治連合会会長様、淀・淀南・納所学区社会福祉協議会会長様、ライオンズクラブからは地区ガバナー・森井士朗よりご祝辞を賜り、キャビネット幹事・水田俊宏、4R3Zゾーン・チエアパーソン、地区役員、京都鳥羽LC会長、幹事、宇治LC副委員長の到来賓の方々のご臨席のもと、京都淀LCメンバーを合わせ総勢約400名により「生き生き健康フェスタ」を無事成功することが出来ました。皆様に心より感謝申し上げます。

このように地域の皆様と健康について今一度、考え直し、交流を深める事が出来ます事に感謝し、このフェスタが皆様にとって健康への新しい一歩となるアクティビティでありますことを願っています。今後とも地域の皆様に喜んで頂けるアクティビティを目指して参りたいと思います。

運営や準備等でご協力下さいました、金井病院様、淀の里様、会場をご提供下さいましたJRA京都競馬場様に心よりお礼申し上げます。

出席・迎接・PR委員長 上村 理啓



京都日吉ヶ丘LC 車いすハンドボール大会

第555回11月第二例会

「車いすハンドボール大会例会」

2014年11月30日(日) 9時〜

於：京都市障害者スポーツセンター

天候：晴れ

定刻通り幹事・北村尚嗣の司会により開会、会長・高嶋利一郎より「本日の車いすハンドボール大会では、怪我のないよう頑張ってください。」と挨拶され、閉会のゴングで終了しました。

9時30分より大会式典となり、時森康郎競技委員長が宣言され、水谷裕大会委員長の大会の挨拶につづき、当クラブ会長・高嶋利一郎から労いの挨拶がありました。そして両者の間で支援金の目録贈呈と感謝状の授受がありました。

競技にはいり、対戦チームは強豪みらい学園でしたが、スコア5対12で善戦むなしく敗戦となりました。選手の皆さん、応援団皆さんお疲れ様でした。

その後、北山のお寿司屋さんで和気あいあい、美味しいお寿司を頂きました。会長・高嶋利一郎、ありがとうございます。

広報情報委員長 光岡 恒彦



クラブ便り

大和郡山にて

盲ろうあ児施設 奈良県立筒井寮『なかよし祭り』

11月2日(日)肌寒さを感じる曇り空の中、奈良県立筒井寮訓練館内でメンバー19名参加のもとアトラクション、餅つきを実施しました。

アトラクションでは『中国民族舞踊』を傘を差しながら立見が出来るほど子供たちは目を逸らすことなく見入っていました。



餅つきの方も子供たちの杵を持つ

順番待ちの列が出来ました。できたてのお餅を笑顔で受け取り走っていく子供。

とても心温まる一日を過ごすことが出来ました。メンバーの皆様、お疲れ様でした。

保健福祉委員長 田口 恵美子



彦根金亀にて

国際平和ポスターコンテスト クラブ展示会・表彰式を開催して

当クラブは、今年度も国際平和ポスターコンテストの応募を頂き、全13校1050枚の作品受取を致しました。10月には市内学校長御二人に審査をお願いし、地区提出24点、クラブ努力賞63点を選出頂きました。

地区滋賀展示会が11月22日(日)彦根で開催されるのを機に、当クラブも同時に、同所で3日間87作品(3点は写真)の展示会を開催、最終日には表彰式を致しました。

ポスターには、画用紙に向かう子供達の心の中にある、純粋な平和に対する思いが懸命に描かれており、とても意義深い事業だと考えております。各校とも社会科平和授業の中での取組みで、日程調整してまで締切に間に合せて頂いたとお聞きしました。また、今年は県立養護学校、県立盲学校からも応募があり、障がいを持ちながらも平和への思いが作品から伝わり、観る人に感銘を与えたと思います。



11月24日の表彰式には地区努力賞入賞の3名を始め、60名以上のクラブ入賞・努力賞受賞者の出席があり、保護者の皆様、ギャラリーの方々等、約200名の中で執り行う事ができました。前川恒廣彦根市教育長にもご臨席頂き、会場に花を添えて頂きました。

事業開催に当たり、彦根市教育委員会、学校関係者、他多数の御協力を賜り、深く感謝申し上げます。このコンテストがこれからもより一層浸透していくことを祈念します。

PR:会報・IT委員長 水谷 勝彦



クラブ便り

彦根LC

たんぽぽ作業所餅つき奉仕＆
クリスマスプレゼント事業

12月10日(水)恒例のたんぽぽ作業所の餅つき奉仕＆クリスマスプレゼント事業を行いました。

最近では珍しくなった、臼と杵による餅つき、作業所の生徒さんたちが毎年楽しみにしておられます。

しかし、搗き手も体力が要りますし手返しも大変です。(ちなみに手返しは、事務局員さんで本日一番の活躍でした)年々難しくなってきたような？

つきあがったお餅をあんころ餅やきなこ餅、雑煮にして参加者で美味しく頂きました。

餅つき終了後、クリスマスプレゼントが配られました。サントに会長、トナカイに社会福祉委員長が変身、今年のサントさんは、トナカイより小さくてとても可愛いサントさんでした。

社会福祉委員長 脇坂 正人



檀原LC

檀原ライオンズクラブCN 50周年を迎えて

檀原ライオンズクラブは、2014年11月2日檀原ロイヤルホテルにおいてCN 50周年記念式典を開催した。昭和39年11月にチャーターメンバー30名で発足し、半世紀にわたり奉仕の精神で社会に貢献してきた。CN 50周年の記念事業として檀原ライオンズクラブが従来から努力している「次代を担う青少年の健全育成」に花を添える二つの事業が企画され、大きな成果が期待されている。

一つはIPS細胞(人工多能性細胞)研究で2012年12月にノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥京都大学・IPS細胞研究所々長の講演会である。講演は中学生3年生を対象に開催され、檀原市教育委員会と校長会の計らいで正規の授業として認められた。檀原文化会館で、館内一杯の1300人が集まり、その中で、山中教授は、「人間として成功するには、Vision(長期的な目標)とWork(一生懸命働くこと)が必要で、何のために学ぶのか、将来どんなことを実現したいのかを考えて学生時代を有意義に過ごして下さい。応援しています。」と講演された。また、「感謝の心が大切で、私がノーベル賞をもらったのは、スタッフの皆様のおかげです」と、感謝の心を忘れてはなりませんと、言葉を大にして、講演された。子どもたちも大変わかりやすい講演会であったと感想を述べており、大成功に終わった。

二つ目は幼い子ども達に友だちや家庭を大切に「ふるさとを愛する心」を育んでもらおうとする、むかし話の絵本の作成である。絵本は二作制作された。タヌキが人間に恩返しする曾我町の「きたばやしのたぬき」と天照大神が磐座(いわくら)に隠れる香久山区の「天の岩戸と七本竹」である。各4,000冊、計8,000冊を市の幼稚園や保育所に贈り、子ども達に読み聞かせてもらうと共に、市立図書館を初め県内の図書館にも配付する事とした。

檀原ライオンズクラブが従来から取り組んできた自助、共助、公助の三位一体(行政・市民・ライオンズクラブ)の型が効果を発揮した。つまり、檀原市教育委員会、市立図書館、市内で読み聞かせするグループ、奈良芸術短期大学の研修生とライオンズクラブのメンバーを加えて結成された「檀原市民話絵本を作る会」が、結成された。



これらの絵本は同会が激論を交わし、編集会議を繰り返して完成させたものである。檀原ライオンズクラブは「担当の皆さんの懸命な努力には、今さらながら頭の下がる思いです。ただ、この事業は大人の皆さんが子ども達に親しく読み聞かせてもらうて、初めて目的を達するものなので今後の継続が課題でしたが、聖心幼稚園から、読み聞かせ会を催したいと要請があり、継続すべく努力を続けたいと思います。」と述べている。これを機に今後の発展が期待される。また、天の岩戸神社がある、香具山地区の自治会では、この絵本の原画を神社に奉納したいというお話があり、香具山地区の街づくりのきっかけとなつて、今後の展開が期待されているところである。



新会員の紹介

おめでとうございます



L井田 憲司

S.22年8月17日生

京都ときわLC

IDAクリニック
院長
医師



L小泉 健二

S.25年7月21日生

京都洛陽LC

医療法人健生会 小泉肛門科外科医院
理事長
開業医



L桂 幸光

S.59年5月23日生

京都南LC

京都アプリシエイト
代表
農業



L下村 明

S.23年6月6日生

京都南LC

下村 あきら事務所
京都市会議員
京都市会議員



L深田 和行

S.38年2月1日生

京都南LC

有限会社 縁
代表取締役
呉服製造卸・小売



L畑田 哲

S.40年1月6日生

京都桃山LC

株式会社 松浦建設
営業部長
建設業



L辻 万寿夫

S.41年9月16日生

京都桃山LC

株式会社 辻建材
代表取締役
建築業 (防水・屋根工事)



L平中 和章

S.34年8月27日生

京都洛北LC

京都建具株式会社
代表取締役
銅製建具・住宅設備機器等販売



L橋本 將之

S.38年1月7日生

京都北LC

セイノーコーポレーション(株)
京都支店長
青果卸売業・トレーニングジム



L高橋 一馬

S.17年2月4日生

京都北LC

特定非営利活動法人 障がい者はあとの会
理事長
障がい者支援事業



L西川 浩明

S.32年4月15日生

京都淀LC

JRA京都競馬場
場長
特殊法人



L鶴田 純子

S.39年6月30日生

京都むらさきLC

辰馬本家酒造株式会社
マネージャー代行
清酒製造販売



L戸田 洋平

S.48年9月24日生

京都洛東LC

京都総合法律事務所
弁護士



L廣田 雅彦

S.38年2月26日生

京都桃山LC

ハート保険
代表者
保険代理業



L高橋 宗大

S.51年5月13日生

京都桃山LC

そうだい司法書士行政書士事務所
代表
司法書士・行政書士



L岩崎 正広

S.48年7月7日生

舞鶴LC

(株)英里奈
代表取締役社長
小売業 (衣料品、ユニフォーム販売)



L森浦 豊

S.39年10月20日生

京都市南LC

株式会社 渥美建設興業
取締役
建設業



L山本 憲

S.47年7月3日生

京都市南LC

株式会社 ワイズスタイル
代表取締役
害虫駆除・内装工事業



L佐藤 賢司

S.39年6月10日生

京都市南LC

ブルランシヤル生命保険(株) 京阪支社
課長
生命保険業



L弘部 俊彦

S.30年7月27日生

京都淀LC

医療法人 弘部歯科医院
理事長
歯科医療

**L加賀 恭一**

S.34年12月18日生

舞鶴LCライフサービス舞鶴
代表者
広告代理業**L眞下 博人**

S.44年10月17日生

舞鶴LC(株)バンガード
代表取締役
サービス業**L山本 治兵衛**

S.49年8月1日生

舞鶴LC日鶴食品工業所
代表
食品加工業**L堀口 宏之**

S.49年1月22日生

舞鶴LC(株)ホリグチ
代表取締役
卸売業・サービス業**L高田 啓司**

S.43年3月6日生

舞鶴LC(株)たかた荘 ホテルマーレ たかた
代表取締役社長
ホテル業**L梅村 烈**

S.44年8月8日生

高島LC梅村烈司法書士事務所
所長
司法書士**L中村 利弘**

S.42年11月3日生

高島LC社会保険労務士 中村労務事務所
所長
社会保険労務士**L梅村 勝久**

S.32年1月29日生

高島LC

高島市議会議員

**L荒木 克義**

S.48年5月2日生

大津LC(株)オールスマイル
代表取締役
自動車販売・修理**L志賀 康弘**

S.40年12月26日生

舞鶴LC舞鶴ホテル(ポラリス)
代表
冠婚葬祭業**L小野寺 秀史**

S.47年2月10日生

草津LC土地家屋調査士 小野寺 秀史事務所
所長
土地家屋調査士**L中村 卓雄**

S.29年6月24日生

大津びわこLC雄不動産
代表
不動産業**L木下 長治**

S.34年12月21日生

高島LC

農業

**L青谷 章**

S.28年9月23日生

高島LC

高島市議会議員

**L外村 剛**

S.45年6月2日生

高島LC関西アーバン銀行 安曇川支店
副支店長
金融業**L西田 文浩**

S.41年1月1日生

檀原LC(株)南都銀行 檀原支店
支店長
金融業**L田中 敏裕**

S.40年1月12日生

大和郡山LC(株)南都銀行 筒井支店
支店長
金融業(銀行)**L吉田 強**

S.43年2月25日生

奈良LC(株)日本旅行 奈良支店
支店長
旅行代理店**L松尾 富士男**

S.39年7月7日生

近江八幡LC円山化成工業(株)
代表取締役
強化プラスチック製造業

ご冥福をお祈り申し上げます



故 L池内 大三

京都紫明LC
没 2014年12月23日
享年69才

ライオン歴

1995年5月 入会
2001年度 理事
2002年度 理事
2006年度 第三副会長
2007年度 第一副会長
2010年度 第一副会長



故 L吉井 昭

大和郡山LC
没 2014年11月7日
享年70才

ライオン歴

2014年 入会



故 L豆田 弘次

京都堀川LC
没 2014年9月29日
享年94才

ライオン歴

1974年度 チャーターメンバー
1975～ 会長
1976年度 会長
1980～ 会長
1981年度 2R1Z ZC
1994～
1995年度 地区長寿社会・
糖尿病教育委員長



故 L中路 重行

京都紫明LC
没 2014年9月26日
享年94才

ライオン歴

1963年3月 入会
1966年度 理事
1972年度 理事
1973年度 理事
1992年度 第二副会長
2011年度 会員理事



故 L秋山 優

樺原LC
没 2014年9月13日
享年90才

ライオン歴

1964年 入会
1975～
1976年度 会長
1978～
1979年度 地区レオ委員
1987～
1988年度 ZC
1989～
1990年度 CN25大会委員長
1995～
1996年度 地区糖尿病教育委員長
2002～
2003年度 RC
2005～
2006年度 年次大会副委員長



寒晒吉野葛

灘商事株式会社 (有)華緑園本舗

地域団体商標 吉野本葛・吉野葛
吉野葛製造事業協同組合 組合員

〒639-3445 奈良県吉野郡吉野町檜井1197
TEL.0746-32-8556(代) FAX.0746-32-8676

直営店

名産品ショップ吉野舎

〒638-0801 奈良県吉野郡大淀町芦原5-5 TEL.0747-52-0273

【業務内容】寒晒吉野葛製造・葛餅・葛湯等各種葛製品製造・奈良県産柿使用 柿の奈良漬
等観光物産企画製造卸

L西灘 晋(吉野LC)



GAZOO Racing Vitzレーズに
チャレンジしています!

GR Net Cup Vitz Racing

関東・関西シリーズ出場

- 富士スピードウェイ 静岡県
- ツインリンクもてぎ 栃木県
- 鈴鹿サーキット 三重県
- 岡山国際サーキット 岡山県

スポンサー募集中

御社の広告を背負い走る

詳しくはこちらまで
〒520-0502 滋賀県大津市南小松920
(株)隈元建設 レース部門
TEL:077-596-8057
MAIL:info@kumamotokensetu.co.jp



L隈元 ひかる(志賀堅田LC)

AMERICAN TRADITIONAL

アメリカボストンの街並みを再現、非日常の提案



【宴会場】6会場(最大200名収容) チャペル
ご婚礼・ご宴会 好評、承り中

【レストランリバティー】ランチ ¥1,100～

【宿泊】・シングルルーム ¥8,400～
・ダブルルーム ¥13,100
・ツインルーム ¥15,200～


HOTEL
BOSTON PLAZA
Kisutsu

J R琵琶湖線「草津駅」西口前
U. S. A トラディショナルの香るシティホテル

ホテル ボストンプラザ 草津

〒525-0037 滋賀県草津市草津駅西口 本ビル5F内

Phone 077-561-3311

<http://www.hotel-bp.co.jp>

L南 英三(草津LC)

太子道うおっね



● 歓送迎会・お祝い会等ご予約承り中 ●



お一人様から、ご家族様、
会社の貸切等、何でも対応可能です。
おまかせコース5000円から、
春の鯛しゃぶなべ、
鰻しゃぶなべコース7000円から、
その他、すし、一品いろいろあります。



太子道うおっね

京都市中京区西大路通太子道西入南側
075-823-5771

L高木 祥史(京都洛中LC)

		クラブ名	2014年度 期首		家族会員(子会員)数						クラブ名	2014年度 期首		家族会員(子会員)数			
R	Z		1月末	2月末	1月末	入会	退会		R	Z		1月末	2月末	1月末	入会	退会	
1	1	京都	93	92	0	0	0	5	1	亀岡	62	59	0	0	0	0	5
		京都サウス	43	45	0	0	0			園部	32	33	0	0	0	0	
		京都洛南	32	33	0	0	0			綾部	23	21	0	0	0	0	
		京都京洛	34	34	0	0	0			亀岡保津川	33	35	2	2	2	0	
		京都烏丸	17	16	0	0	0			5-1合計	150	148	2	2	2	0	
	1-1合計		219	220	0	0	0		2	福知山	34	48	12	12	0	0	
	2	京都ウエスト	43	42	0	0	0			夜久野	24	23	0	0	0	0	
		京都室町	30	30	0	0	0			三和	18	14	0	0	0	0	
		京都朱雀	27	25	1	0	0			福知山東	34	34	0	0	0	0	
		京都賀茂	43	41	0	0	0			5-2合計	110	119	12	12	0	0	
	3	京都ミレニアム	30	32	0	0	0		3	舞鶴	52	57	0	0	0	0	
		京都グレース	30	28	0	0	0			宮津	46	43	2	0	0	0	
	1-2合計		203	198	1	0	0			網野	31	32	5	0	0	0	
	3	京都鴨川	83	82	5	0	0			丹後中央	18	18	0	0	0	0	
		京都桂	18	18	0	0	0			久美浜	26	25	0	0	0	0	
		京都御室	12	12	0	0	0			舞鶴みなと	19	18	0	0	0	0	
		京都洛翠	18	23	0	0	0			5-3合計	192	193	7	0	0	0	
	1-3合計		183	186	10	0	0		5R合計		452	460	21	14	0	0	
2	1R合計		605	604	11	0	0	6	1	大津	39	41	0	0	0	0	6
	1	京都洛陽	64	80	14	14	0			高島	34	41	0	0	0	0	
		北桑田	15	17	2	2	0			大津びわこ	18	19	0	0	0	0	
		京都ときわ	13	25	10	10	0			志賀堅田	18	19	0	0	0	0	
		京都モーニング	24	26	7	1	0			瀬田	24	24	3	0	0	0	
	2-1合計		116	148	33	27	0		2	大津比較	17	18	2	1	0	0	
	2	京都イースト	42	41	0	0	0			草津	68	94	26	26	0	0	
		京都みやこ	17	27	10	10	0			近江守山	49	49	0	0	0	0	
		京都うずら野	36	36	0	0	0			水口	32	42	12	11	0		

藤田 剛士(京都醍醐LC)